

米子市立図書館 POPコンテスト 2022 作品大募集！

みんなにお薦めしたい、お気に入りの本をPOP（ポップ）にして応募してみませんか？POPは、お薦めしたい本を紹介するためのカードです。

優秀作品に選ばれた方には図書カードや図書館オリジナルグッズをプレゼント！たくさんのご応募お待ちしております♪

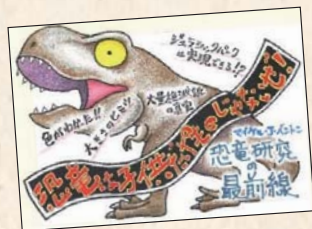
- ▶募集期間 9月1日(木)～10月2日(日)
- ▶表彰式 11月20日(日) 米子市立図書館にて
- ▶申込方法 郵送または持参

※くわしくはチラシをご確認ください。



▲オリジナルグッズ

▼一般部門最優秀賞 (昨年度)



ぶらり らいぶらり

米子市立図書館からのお知らせ

米子市立図書館 (☎22-2612 FAX22-2637)

開館時間 平日：午前9時～午後7時

土・日・祝日：午前10時～午後6時

今月の休館日 毎週月曜日、31日(月末資料整理)

文化講演会「ジョン・スタインベックの 文学「ケルトの薄明」の魔法」

アメリカの作家ジョン・スタインベックの作品を「ケルト文化」の観点から読み解きます。ケルト音楽の素敵な演奏とともに楽しみください。

- ▶講師 酒井 康宏さん
米子工業高等専門学校名誉教授
- ▶とき 9月18日(日) 午後1時30分～3時30分
(午後1時開場)
- ▶定員 60人(要申込) ※参加費無料
- ▶申込方法 電話、FAX、窓口にて
(8月19日(金) 予約受付開始)

♥児童図書

星座と神話 2 夏の星座をめぐる



藤井 旭/監修 学研プラス

全天88星座のを見つけ方と特徴、星座にまつわる神話を、写真とイラスト、まんがで紹介。楽しみながら星や星座に親しめます。夏休みはのんびり夜空を見上げてみては。

◆一般図書

草木鳥鳥文様



梨木香歩/著 福音館書店

草木や野鳥についての愛情あふれるエッセイ、その花鳥が描かれた古びた引き出し、それらを町中に持ち出し撮影した写真。三位一体のセンスの良い1冊。

今月のおすすめ図書

今月の催し (☆印は要事前予約)

「おはなし会」

▽木曜おはなし会(ほしのぎんか・火曜の会、図書館職員)(☆)

毎週木曜日 午前10時40分

▽おはなしかご(米子おはなしかご)

(☆)20日(土) 午前10時30分

▽夕方おはなし会(図書館職員)(☆)

9日(火) 午後4時

「各種講座」

▽つつじ読書会『深い河』遠藤周作著
(講談社文庫)(初めての方☆)

6日(土) 午後2時

▽楽しく漢文に学ぶ会(初めての方☆)

7日(日) 午後1時30分

▽いきいき長寿音読教室(☆)

9日(火) 午後3時

10日(水) 午前10時30分

(9月の予約は9月1日(木)受付開始)

▽百人一首を読み解く

20日(土) 午後1時30分

▽鳥取大学サイエンスアカデミー

27日(土) 午前10時30分

▽古文書研究会「多比能貫久佐」ほか

27日(土) 午後1時30分

▽朗読コンサート「星は見ている」原

爆の日よせて(火曜の会)

6日(土) 午後2時

「2階ギャラリー」

▽長崎原爆展 2日(火)～14日(日)



米子水鳥公園の指導員（レンジャー）が
日々の活動をご紹介します！

米子水鳥公園 レンジャー通信

文／米子水鳥公園統括指導員 桐原 佳介

ヨシ原でさえずる
オオヨシキリ



離島以外では
ほとんど見られない
ウチヤマセンニュウ

水鳥公園には、ウグイスの仲間であるさまざまなヨシキリやセンニュウがやってきました。ヨシキリはオオヨシキリ、コヨシキリを中心に、国内初記録の種類も含めて4種、センニュウはシマセンニュウを中心に5種が確認されています。1箇所ですぐに確認されています。1箇所ですぐに確認されています。1箇所ですぐに確認されています。

水鳥公園はヨシキリやセンニュウの宝庫

これらが挙げられます。これらの鳥は姿が地味で、常に茂みに潜んでいるため、観察が難しい種類ばかりです。水鳥公園では、ヨシ原に潜む小鳥を捕獲して足環をつけて放す鳥類標識調査を1995年から行ってきたので、目視で確認しにくい鳥を確認できているのです。ヨシキリやセンニュウが暮らすヨシ原は、近年全国的に減少しており、水鳥公園のヨシ原の重要性は年々高まっています。これらの鳥の宝庫であり続けるために、園内のヨシ原の保全に努めたいと思います。

美術館通信

企画展

すずきやすお こぐちもくはん
「鈴木康生 木口木版 ～暗闇に光を刻む～」

会期 ～8月21日(日) [水曜日休館・観覧無料]

鈴木康生(1969年生まれ)は鳥取県西伯郡岸本町(現・伯耆町)出身の版画家で、現在は神奈川県を拠点に活動しています。木を輪切りに切り出した表面が硬質な木口を版木として使用し、主に動植物をモチーフに「生命」「生と死(輪廻)」をテーマとし、人間や動植物の息遣いや存在感、そして鈴木が感じた気持ちまでも緻密な彫刻技術で表現しています。

この機会に、精密な線描表現など、生の版画の迫力を感じてみてください。

📍 米子市美術館

☎ 34-2424、FAX 33-0679



《珊瑚》2001年 木口木版 紙 15.5×24.5 (cm)